保全ニュースとうほく

身近な地震対策について　～オフィス家具等の転倒防止対策など～

官庁施設のオフィス家具においては、壁や床などへの固定がかなり進んでおりますが、未だに固定されていない家具や、せっかく床・壁に固定されていても、背の高い家具の上にダンボール等の荷物が置かれて落下の恐れがある事例等も見られます。

そこで、地震時の被害を最小限にするため、今一度オフィス内を見回していただき、下記のチェックリストにより確認をお願いするとともに、不備に該当する項目がある場合は、すぐに改善出来る項目から対応されることをお勧めします。

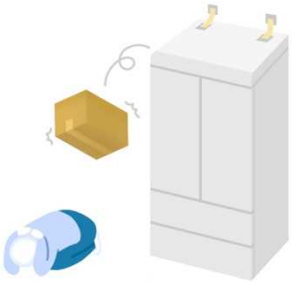
オフィス家具等の転倒・落下・移動防止対策チェックリスト

☐ 背の高い家具は、床と壁下地の鉄骨・コンクリート等とボルトでしっかり固定されている。
☐ 背の高い家具は、間仕切り壁の代用として使用していない。
☐ 背の高い家具の上には、物を載せていない。
☐ 棚からはみ出して書類や物を収納していない。
☐ 家具に物を収納する場合は、重いものを下に入れて、重心が低くなるようにしている。
☐ ２段以上の積み重ね家具、複数家具を並べる場合は上下・横相互に金具等で連結されている。
☐ デスクの近くなど、人のいる近くに、扉の無い背の高い家具を設置していない。
☐ 家具の扉・引き出しには、ラッチ・セーフティロックが付いている。
☐ 家具の扉・引き出しは、使用した後は必ず閉めている。
☐ 家具に組み込まれているガラスには、飛散防止フィルムが貼られている。
☐ ガラス窓のそばに、倒れやすい物を置いていない。
☐ 避難通路に、倒れやすい物を置いていない。
☐ 室内の出入り口付近に、転倒・移動しやすい家具類を置いていない。
☐ デスクの下は、いざという時にもぐり込めるよう物を置いていない。
☐ 複写機やＯＡ機器などは、適切な方法で転倒・移動防止対策をしている。

なお、東京消防庁のホームページに「家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブック」が公表されており、具体的な対策等が詳しく掲載されておりますので、参考にしてください。
https://www.tfd.metro.tokyo.lg.jp/learning/elib/kagutenhandbook.html



扉が無い背の高い家具は、地震時に書類が落下する恐れがありますので、人のいる近くには設置しないでください。



背の高い家具の上に物を載せると、地震時に落下の恐れがあり危険です。